

2022(令和4)年度 大阪教区重点プロジェクトの推進状況

<実践目標>

- 実践目標(1)：貧困の克服に向けて〈～Dāna for World Peace～〉一子どもたちを育むために一
実践目標(2)：魅力ある寺院をめざして

<達成目標>

- 実践目標(1)：持続可能な貧困支援活動の実践
実践目標(2)：持続可能な寺院活動の基盤づくりの実践

<2022年度推進計画>

- 実践目標(1)：持続可能な支援システムの構築
実践目標(2)：寺院活動の基盤づくりに関する研修会の開催

(1) 実践目標達成に向けた取り組み（研修会、実践活動等）について

①取り組み内容

実践目標(1)：

- i) 「お米をひと握り（一合）持ち寄り」ほっとけ^{まい}米プロジェクト
※奨励要項 <<84ページ参照>>
※実施組 4組
- ii) バースデーケーキプレゼント・プロジェクト
支 援 先：児童養護施設 大阪西本願寺常照園
支 援 者：個人・グループ・寺院・教化団体・組など48口
支援金額：1口 3,000円（誕生日ケーキ1ホール分）

実践目標(2)：

- i) 「人生儀礼」の一般寺院での実施
※実施内容 <<47ページ参照>> 1組
- ii) 寺院活動の基盤づくりに関する研修会の開催
※協議会1回開催 <<47ページ参照>>

②達成度

B.ほぼ順調

③自己評価（達成度の理由）

活動内容がそれぞれ時事に適したもので、対象者、参加者には歓迎されている。

(2) 取り組みによる成果について

①成果

実践目標(1)：

「バースデーケーキプレゼント・プロジェクト」については、取り組みがわかりやすいということもあり、目標数口到達後も多くの人から支援をしたいという申し出があった。しかし、「お米をひと握り（一合）持ち寄り」ほっとけ米プロジェクトについては、まだまだ一部の活動となっており、組などで独自に活動出来ているところはまだまだ少ない状況である。積極的に活動できているところの取り組みを紹介するなど、活動を広げていく工夫が求められている。

実践目標(2)：

i) 「人生儀礼」の一般寺院での実施

前年度は、モデル事業を実施した人生儀礼「七五三」を動画収録し、それを教区内一般寺院に公開した。そして今年度は、一般寺院で実施された。また前年度の人生儀礼「七五三」に引き続き、人生儀礼「年祝い」のモデル事業を実施した。前年度「七五三」に引き続き、映像を公開すべく動画収録を行った。

ii) 寺院活動の基盤づくりに関する協議会・研修会の実施

協議会1回、研修会2回、合わせて3回開催し、それぞれ時勢に応じたテーマで内容も充実していた。

②達成度

C-1.何とも言えない（様子見）

③自己評価（達成度の理由）

コロナ禍のもと、活動参加への気運を高めることが困難。

(3) 取り組みにおける課題・改善策について

実践目標(1)：

教区内では、まだまだ一部の活動となっており、組などで独自に活動が出来ているところはまだまだ少ない状況である。積極的に活動できているところの取り組みを紹介するなど、活動を広げていく工夫が求められている。

実践目標(2)：

i) 「人生儀礼」の一般寺院での実施

教区内で人生儀礼を開催報告があったのは1ヵ寺に過ぎず、人生儀礼に取り組む気運を高めていく手立てが必要である。

ii) 寺院活動の基礎づくりに関する協議会・研修会

コロナ禍のもととはいえ、参加者が少ない状況が続いている。研修会や協議会の参加呼びかけ対象を広げ、案内・周知の方法を再考することが求められている。

(4) 教区内僧侶、門信徒の参画、実践について

①参画・実践状況

「バースデーケーキプレゼント・プロジェクト」は、個人・寺院・団体など、主体はそれぞれで参画・実践できる取り組みである。「お米一握り（一合）持ち寄り ほっとけ米プロジェクト」や「人生儀礼」の取り組みは、僧侶（組・寺院）が主導し門信徒と共に参画・実践する取り組みである。

②達成度

C-1.何とも言えない（様子見）

③自己評価（達成度の理由）

新型コロナウイルス感染症の影響により、活動がしにくい状況にある。

以 上